

銚子・波崎(水郷筑波国定公園周辺)導入事例



- ・渡り鳥、留鳥の飛来ルート 飛翔高度の実態確認、データ化
- ・海岸線利用→洋上風力発電進出、制約条件(海岸線の自然公園、海岸景観基準?)

IV. 沿岸地域の風力発電メリット(波崎漁協導入例)



第11回 新エネルギー大賞 新エネルギー財団会長賞受賞

自家発電と維持管理を賄う需要対応型でRPS法に適応したモデル事業として、波及が期待され高評価を得た。

三菱MWT1000A



年間発電量=2.7GWh(約1GWh製氷使用) **CO₂削減 =1,093ton/年** (750世帯分電力)

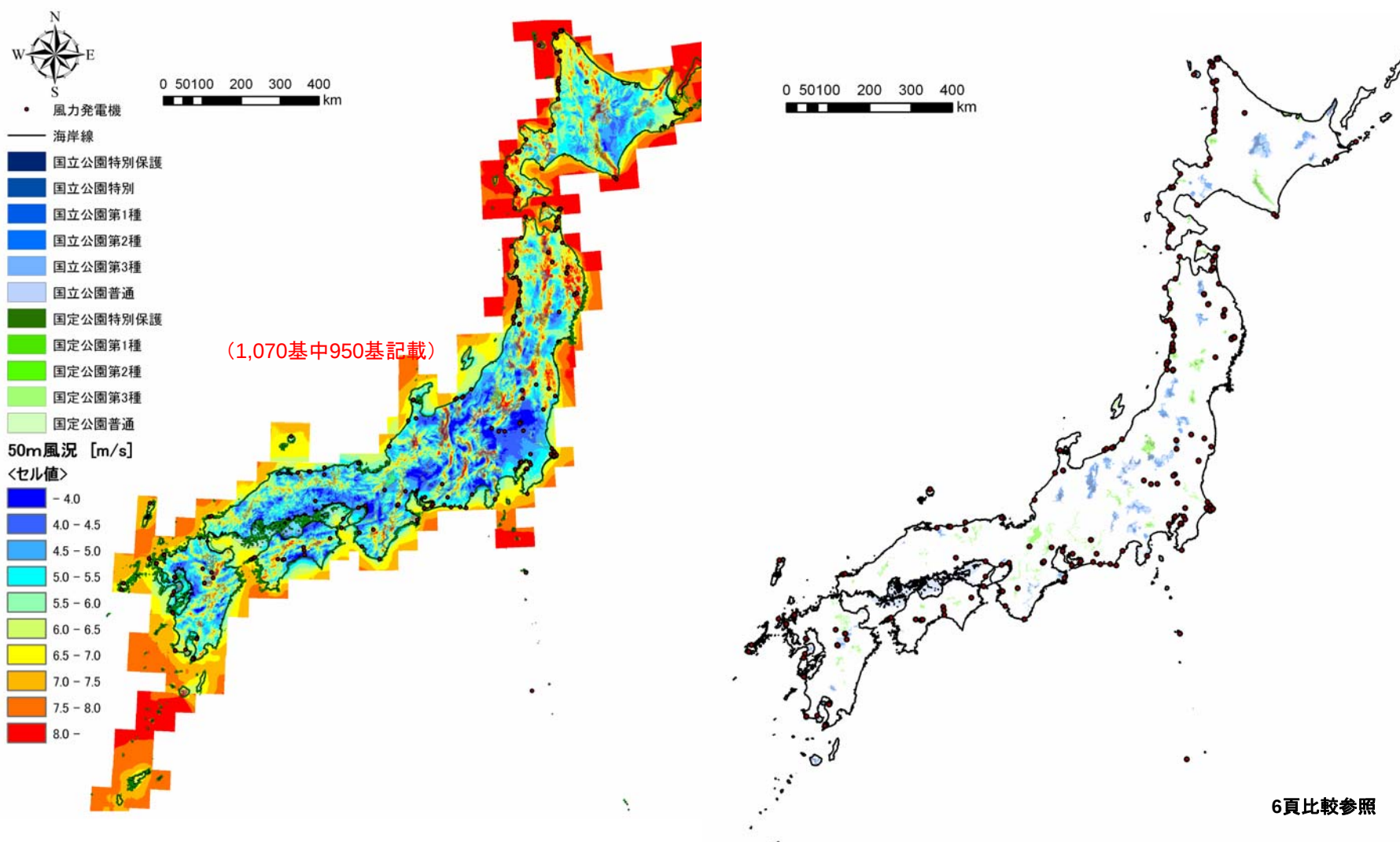
設備利用率=30%

フェンス包囲: 悪戯防止+コアジサシ等の繁殖エリア (撮影写真フェンス設置前)

波崎17基、銚子22基+?が存在 バードストライク未発見

国内設置1,070基の一部風車で発生 →バードストライク発生地形、環境・原因究明¹³

風況マップと国立・国定公園&現況風車(未活用地域)



保安林や自然公園など海岸線の風況適地の利用未促進 → 山岳地(高風況)進出
 (アクセス、送電系容量含む)

海岸線の活用(バードストライク懸念エリア除く) → 山岳地への風力発電導入抑制